

# 一九二〇年代 東アジアの文化交流 II

川本皓嗣・上垣外憲一 編

A5判・272頁・上製本・ジャケット装  
定価 2,625円 (税5%込) ISBN978-4-7842-1584-3

2011年7月刊行

未開拓な部分が多い1920年代の東アジアの文化交流。当該各国の研究者を結集してその様相を解明する第二弾。1920年代日本はいわゆる大正デモクラシーの時代であり、経済の好景気と比較的安定した国際関係によって、海外との交流が新たな展開を見せた時代であった。西洋という価値は相対的なものとなり、東洋回帰も日本の芸術家たちにとって、もう一つの選択肢となってくる。日本の伝統文化に対する東洋人のまなざしも、幕末明治期の異国趣味とは一線を画するようになり、中国・朝鮮からの留学生も実り多い文化活動を繰り広げた。演劇・詩歌・文芸などをテーマに東アジアを総観する。

まえがき

上垣外憲一  
(大手前大学教授)

第一部 東アジア総観 一九二〇—一九三〇

一九二〇年代の東アジア文化交流と間テクスト性

カレン・ソーンバー (ハーバード大学准教授)

孫文の日中経済同盟論とその周辺—瀧川辨三・儀作の実業思想に関連して—

竹村 民郎 (国際日本文化研究センター共同研究員)

第二部 演劇の西洋・東洋

一九二〇年代中国におけるシェイクスピア

程 朝翔  
(北京大学教授)

辻聴花の中国劇研究

周 闕  
(北京言語大学教授)

第三部 相互理解の詩学

小さな詩—周作人の日本詩歌論について—

劉 岸偉  
(東京工業大学教授)

萩原朔太郎と韓国

—〈青猫〉の響きと官能表現の変容を中心に—

梁 東国  
(祥明大学教授)

第四部 花咲く文芸

自伝か、小説か、詩か—金子光晴・森三千代が描いた一九二〇年代の上海—

趙 怡 (東京工業大学非常勤講師)

「もの」と云ふもの

—一九一〇年代後半及び二〇年代前半の谷崎潤一郎の名詞表現をめぐって—

岩谷 幹子

郭沫若の『女神』を再読する

巖 安生

(北京外国語大学教授)

あとがき

川本 皓嗣  
(大手前大学学長)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 【2011年6月27日より左記に移転】 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	一九二〇年代東アジアの文化交流II 本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1584-3			
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				書店番線印

## ※谷崎潤一郎と世紀末

大手前大学比較文化研究叢書1

松村昌家編

大手前大学で行われた第62回日本比較文学会全国大会のシンポジウムをもとに、海外における谷崎評価も踏まえ、比較文学的見地から谷崎の文学に迫る。

### 【内容】

谷崎潤一郎の世紀末（井上健）／谷崎潤一郎の世紀末と〈マゾヒズム〉（松村昌家）／オリエンタリズムとしての「支那趣味」（劉建輝）／海外における谷崎の翻訳と評価（大島眞木）／文体の「国際性」（稲垣直樹）／マックス・ノルダウ「世紀末」（森道子訳）／R・V・クラフト＝エービング「マゾヒズム」（和田桂子訳）

▶A5判・212頁／定価2,940円

ISBN4-7842-1104-7



## 視覚芸術の比較文化

大手前大学比較文化研究叢書2

武田恒夫・辻成史・松村昌家編

源氏物語からラファエル前派まで、日欧の古代から現代までの文学テキストと絵画・工芸などとの関わりを、まるで謎解きのように解いていく。文学と視覚芸術の交差点。

### 【内容】

物語絵から物語図へ／文芸を着る／むさしの、そして『武蔵野』まで／「美しき静い女」カトリック・レスコーとは誰か？／ゴーガン作《デ・ハーンの肖像》に描かれた書物／セレスタン・ナントウイユ／マンチェスター美術名宝博覧会／ジョージ・S・レイヤード『テニスとラファエル前派の画家たち』

▶A5判・256頁／定価2,940円

ISBN4-7842-1187-X



## ヴィクトリア朝英国と東アジア

大手前大学比較文化研究叢書3

川本皓嗣・松村昌家編

近代化過程における日本・中国・朝鮮と英国との文化交流誌。

### 【内容】

ムスメに魅せられた人々（川本皓嗣）／キプリングと日本（森道子）／交差する両洋の眼差し（谷田博幸）／中村正直（平川祐弘）／福沢諭吉におけるW・パジヨット問題（安西敏三）／文明史・G・G・ゼルフォとT・B・麻侯礼卿（鈴木利章）／ミルのOn Libertyは明治日本と清末中国でどのように読まれたか（王曉範）／『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』の東アジア（松村昌家）

▶A5判・276頁／定価3,360円

ISBN4-7842-1297-3



## 夏目漱石における東と西

大手前大学比較文化研究叢書4

松村昌家編

明治の文豪、夏目漱石の小説において、そこに織り込まれた西洋の概念と東洋の概念の葛藤、直接影響を受けた小説との比較、イギリスの事物の受容の様相など、気鋭の研究者たちによる漱石文学論。

### 【内容】

小説美学としての〈非人情〉（松村昌家）／『吾輩は猫である』におけるメランコリーと神経衰弱（仙葉豊）／「甲羅ノハヘタル」暗示（佐々木英昭）／奇人たちの饗宴（飛ヶ谷美穂子）／漱石の『坑夫』とゾラの『ジェルミナル』（大高順雄）／「カーライル博物館」論（神田祥子）／漱石の薔薇戦争（森道子）

▶A5判・208頁／定価2,940円

ISBN978-4-7842-1335-1



## 阪神文化論

大手前大学比較文化研究叢書5

川本皓嗣・松村昌家編

歌枕に詠まれたいにしへの芦屋の浜、歌人や作家に愛され、その作品に影響を与えてきた芦屋・西宮など阪神間の風土、さらに開港早々慌ただしい歴史の舞台ともなった神戸——文学、歴史から阪神文化の神髄に触れる。

### 【内容】

歌枕の詩学（川本皓嗣）／松瀬青々論（杉橋陽一）／谷崎潤一郎と阪神間そして三人の妻（辻一郎）／「記憶の場」としての『吉野葛』（岩谷幹子）／桜と桜守（松原秀江）／昭和初期の神戸における青年団運動について（尾崎耕司）／A・B・ミットフォードと神戸事件（松村昌家）

▶A5判・290頁／定価3,360円

ISBN978-4-7842-1398-6



## 一九二〇年代東アジアの文化交流

大手前大学比較文化研究叢書6

川本皓嗣・上垣外憲一編

明治期の交流にくらべて研究の事例も少なく、未開拓の部分も多い1920年代の東アジア文化交流の様相を、当該各国の研究者を結集することによって、明らかにする。

### 【内容】

一九二〇年代の上海における日中文化人の交流（趙怡）／谷崎潤一郎『日本に於けるクリツプン事件』（松村昌家）／一九二〇年代韓・日文学交流の様相（金春美）／白鳥吾吾『地上楽園』と金素紫『朝鮮の農民歌謡』（上垣外憲一）／大正天皇御製詩閲読（古田島洋介）／大正戯曲の再検討（Cody Poulton）他

▶A5判・232頁／定価2,940円

ISBN978-4-7842-1508-9



## 中国語圏における厨川白村現象

工藤貴正著

隆盛・衰退・回帰と継続

日本では急速に忘れ去られたのに対し、中国語圏の知識人の間では今なお日本を代表する作家である厨川白村（くりやがわ・はくそん）。その著作を軸とした日中台文学交流史。

▶A5判・370頁／定価6,300円

ISBN978-4-7842-1495-2

## 漱石文学の水脈

坂元昌樹・田中雄次・西楨偉・福澤清編

漱石の文学がどのような思想と背景のもと生み出されたのか、また日本を含む東アジア文化圏においてどのように受け入れられ、どのような影響を与えてきたか、「<漱石>への水脈」と「<漱石>からの水脈」という二つのテーマから検証。

【目次】「死んでも自分はある」か／漱石とその英詩／若き漱石の英国「自然詩」研究／『倫敦塔』の視覚芸術的手法／日本近代詩の底流／瞑想の領分／漱石と芥川／独訳『三四郎』の基礎的研究

▶四六判・260頁／定価2,940円

ISBN978-4-7842-1506-5

## 言語のあいだを読む

大澤吉博著

日・英・韓の比較文学

夏目漱石を中心とした日本文学の他言語への翻訳、外から見た日本文学と日本文化、そしてイギリスと世界との関わりを30年以上にわたる多彩な研究の全体を広く学界に提示する遺稿集。

▶A5判・550頁／定価9,450円

ISBN978-4-7842-1524-9

## 漱石と世界文学

坂元昌樹・田中雄次・西楨偉・福澤清編

夏目漱石が世界文学を意識し、そこから多大な影響を蒙ったことの検証だけでなく、漱石がその後の日本文学を含め世界文学に与えたインパクトや、世界で漱石文学が翻訳のかたちでいかに受容されたのかなども見極める。【目次】門前の彷徨／自失した者たちのめざめ／「白雲」と「孤雲」／韓国における夏目漱石研究の様相／漱石文学の影／存在への根源的な問い／漱石とハーンにおける「超自然性」／フランスにおける漱石の受容について／「恐露病」の想像力

▶四六判・262頁／定価2,940円

ISBN978-4-7842-1460-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・FAX・E-mailでお申し込み下さい。なお、※印の書籍にはカバー等に汚れ・傷みがございます。ご了承ください。